様式３（2015.06改）

作成日　平成　30　年　11月　28日

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390600167
事業所名	グループホーム咲花新栄

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：２）	評価
	自治会に加入し、回覧板を通じて情報共有している。定期的に開催される高齢者ふれあい給食という食事会には利用者3名ずつ参加し、地域住民との交流を図っている。ギター、ハーモニカ、太鼓・篠笛の演奏等のボランティアの来所があり、施設の活気や利用者の楽しみに繋げている。市外ではあるが、養護学校生の職場体験の受け入れを実施した。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：３）	評価
	2か月に1回の推進会議では、町内会長、包括職員、民生委員、利用者、家族の参加があり、イベント時の写真を用いて事業報告を行っている。会議では、町内会長や包括から地域イベントの招待や情報をもらったり、施設イベントへの参加を呼び掛けたりと協働関係を築いている。包括にはオレンジリングの講義依頼をしている。協力医（歯科医）や調剤薬局の薬剤師の参加もあり、専門的な知識に触れる機会も得られた。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：４）	評価
	区センター長とは、困難事例に関する情報交換や相談する関係を築いている。また、生活保護担当とは直接利用者への来訪や手続き等で交流する機会が多く持たれている。社協主催の研修会の参加がある。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：６）	評価
	利用者や家族の要望には、職員に周知、対応する体制を整えている。利用者からの外出の要望については、家族と連携を図り実現に向け支援できている。家族とは面会時や電話連絡等で話をする機会を設け、信頼関係の構築に努めている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総　合　評　価		○

１．外部評価軽減要件

①　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」及び「２　目標達成計画」を市町村に提出していること。

②　運営推進会議が、過去１年間に６回以上開催されていること。

③　運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

④　別紙４の「１　自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の２、３、４、６の実践状況（外部評価）が適切であること。

２．外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認　事　項
２．事業所と地域のつきあい	（例示） ①　自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、 消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ②　地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
３．運営推進会議を活かした取り組み	（例示） ①　運営基準第８５条の規定どおりに運用されている。 ②　運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
４．市町村との連携	（例示） ①　運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ②　市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
６．運営に関する利用者、家族等意見の反映	（例示） ①　家族会を定期的（年２回以上）に開催している。 ②　利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③　家族向けのホーム便り等が定期的（年２回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	―	―	―	―	―	―	―	―	―	○	